

第2回 NHK放送センター建替工事に関する技術審査委員会 議事要旨

1. 日時：平成29年1月30日（火）16：00～18：00

2. 場所：NHK放送センター 22階会議室

3. 議題： （1）発注手法および評価等の進め方について
（2）技術提案の評価項目について

4. 出席者： 深尾精一 委員長、射場本忠彦 委員長代理、伊藤香織 委員、
時田繁 委員、松村秀一 委員、山田哲 委員

5. 議事要旨

<議題1：発注手法および評価等の進め方について>

- 事務局から、NHK放送センター建替工事の発注手法および評価等の進め方について説明を行った。
- 委員から、設計・施工一括発注方式の採用理由についてもう少し詳しく説明してほしいとの発言があった。それに対して事務局から、今回の工事は現在地建替であり高度な技術力・ノウハウが必要となること等を説明した。委員からは、設計・施工一括発注方式を採用した理由が確認できた旨の発言があった。
- 委員から、この工事計画・内容からすれば、かなり技術力の高い業者を求めるとの発言があった。それに対して事務局から、業者募集要綱の作成にあたって留意すると回答した。
- 委員から、企業体の構成について質問があった。それに対して事務局から、次回以降の審査委員会で回答すると説明した。
- 委員から、免震構造について、要求水準でどのレベルのものを求めるのか、丁寧に規定してほしいと発言があった。それに対して事務局から、募集要綱の第3章で細かく規定する予定であると回答した。
- 委員から、総合評価落札方式の除算方式について、技術評価点の内訳が基礎点100点、加算点100点とした理由について説明を求められた。それに対して事務局から、他の事例で加算点が低いものがあるが、本工事では技術評価の重みを勘案し、基礎点と加算点の割合を1対1にしていると回答した。
- 委員から、除算する際の分母（入札価格）が億円単位となっているが、円単位まで計算するのか質問があった。それに対して事務局から、億円単位未満は、小数点以下として計算式に算入すると回答した。
- 委員から、発注者業務支援の業者（CM会社）は基礎点や加算点の評価にどこまで関与

するのか質問があった。それに対して事務局から、概略設計やそれに基づく積算を発注しており、基礎点審査におけるチェックの実務的方法をどうしていくのかを依頼している、また、加算点をどうするかは事務局で検討していて、具体的な加算点の評価方法については発注者業務支援の業者は無関係と回答した。

- 委員から、既存建物と情報棟の渡り配線について、安全性をどこまでみるか、そのレベルを示す必要があるとの発言があった。それに対して事務局から、既存の配線の盛り替えについて検討状況を説明した。

また、委員から、電気・空調とその制御の部分はいろいろな所に絡んでくるので、それをどう示すかも重要になってくると発言があった。それに対して事務局から、建物の制御や防災関係は既存とのつながりや切替が必要となってくるので、要求する手順等について発注仕様書に記載し、事業継続の考え方で評価する方向で考えていると回答した。

- 事務局から、発注範囲およびスケジュールについて説明を行った。
- 委員から、放送設備工事については並行して別に検討しているのか質問があった。それに対して事務局から、その通りであると回答した。
- 事務局から、基礎点の考え方について説明を行った。
- 委員から、加算点で加算されると、それは契約上担保されるということかとの質問があった。それに対して事務局から、そうなると回答した。

<議題2：技術提案の評価項目について>

- 事務局から、技術提案項目抽出の流れ、設計・施工一括発注技術提案評価項目・配点等について説明した。
- 委員から、「いかなる災害時にも放送を継続できる安全な建物」という評価項目について、災害の想定において「いかなる災害」というのは非常に難しく、天災・人災両方なのか、免震構造で提案しておいて後で考えるというような提案になる懸念があるのではないか、安全というのは機能を維持しなければならないことになるので、構造性能だけでなく設備機器や機能維持のいろいろな観点で見る必要があるのではないか、との発言があった。それに対して事務局から、首都直下地震を想定しており、自家発電装置の稼働時間延長等、東日本大震災で不足していた部分を募集要綱に記載する予定であると回答した。
- 委員から、街づくりとの調和について、東側のけやき並木通りへの配慮、NHKホールおよびそのアプローチをどう考えるか、について触れてほしいと発言があった。また、公共貢献についてどう考えるか、特に北側の通路は地域の回遊性にとって非常に重要ではないか、公開空地や貫通通路などについてどう考えているのか、との発言があった。また、施設全体および代々木体育館の入った鳥瞰視点が提案書式にあるが、実際は鳥瞰

という視点はないので、景観の観点からはアイレベルでどのように見えるかが大事なのではないかとの発言があった。それに対して事務局から、けやき並木通りとの関係・NHKホールへのアプローチが大事ということはその通りだと思う、募集要綱の評価項目の表現を考えていきたいと回答した。また、公共貢献については、募集要綱にどのようにその姿勢を示すかということでいくと、今の配置では公開棟の上に広場を作ることなどは都市計画上定められた公開空地ではないが公共貢献としてやっていく方向で考えていることなどがある、と回答した。また、鳥瞰視点については、全体像を把握できるという良さがあるので提案してもらいたいと思っていると回答した。

- 委員から、街づくりとの調和についてNHKとして代々木体育館など景観に配慮しているのは分かるが、鉄塔デザインなど意識しすぎないよう配点を再考してみてもどうかとの意見があった。
- 委員から、かなり難しい事業なので募集要綱もかなり縛った形にならざるを得ないが、そこに更にモデルプランを示すと非常に硬いことになってしまうとの発言があった。また、提出図面で各階平面図の指定があるが、階数を指定するような形になっているので、そこまで決めずに提案の余地を残すべきだと発言があった。それに対して事務局から、フロア構成について局内でかなり議論しており、放送局の特殊性から大きなフロア構成と面積は決めていきたいと回答した。

以上